

## 令和元年度 湘南養護学校不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教職員としてサービスを理解し、公務外非行の防止に努める。	啓発資料を活用し、具体的事例を交えたり、チェック項目を具体的に確認したり、法令遵守の意識の向上を図った。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ行為を行う職員はゼロとする。	不祥事防止会議、不祥事防止研修でのグループ協議を実施し、わいせつ、セクハラ、パワハラ行為の禁止を徹底した。
体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した指導を行う。	外部講師による人権研修会を実施し、障がい児の人権について重点的に学び、人権尊重の指導を行った。 校長面接において、体罰、不適切な指導の実態把握を行い、体罰禁止、不適切な指導の防止を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜資料、個別教育計画の作成・配付・管理を適切に行う。	個人情報管理について、直接手渡しや、机上に放置しない、プリンターに置き忘れない等、適宜注意喚起を行い、適切な管理を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理し、情報の紛失、流出を防ぐ。	職員全体で情報セキュリティ研修会を実施し、対策重要度にそったデータ、文書の管理を徹底した。情報媒体の定期的な棚卸しを確実に実施し、適切に管理した。
交通事故、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故を防止する。	啓発資料を活用して、交通法規遵守の意識を高めた。長期休業期間に入る前に、安全運転や交通法規遵守に関する注意喚起を行った。
会計事務等の適正執行	私費会計基準に則った適正・計画的な執行に努める。	会計担当者会を開催し、私費会計手順を確認し、会計事務を適正に執行することができた。担当者によるダブルチェックを行い、ミスのない会計処理を行った。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	日常的に情報共有し、チームで事故を未然に防止する環境をつくる。	チームで日ごろから情報共有を行い、職員相互でチェックし、協力する体制をつくり、働きやすい職場環境を整えた。

### ○令和元年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び令和2年度に取り組むべき課題

不祥事ゼロプログラムの遂行により、全職員が当事者意識を持って、県民の信頼を得られるよう取り組んできた。日ごろから、職員同士が「気かけ、声かけ」円滑なコミュニケーションによる風通しのよい職場環境を整えてきたことにより、概ね不祥事ゼロプログラムを達成できた。

次年度についても、各項目の取組を継続し、わいせつ、セクハラ、パワハラ行為の防止、個人情報の適切な管理、交通事故防止を重点事項とし、不祥事防止の徹底を図りたい。